＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　全員が参加し協働と自己肯定感を育む「玉入れ」活動

【学校名】大津市立瀬田小学校

１　本校の概要

大津市南東部の瀬田地域に位置し、周辺には住宅地が広がり、子育て世帯が多い地域性をもつ。児童数約 1,015 名を擁する市内有数の大規模校であり、多様な個性が集う活気ある学校である。地域や保護者との連携を大切にしながら、確かな学力の育成と豊かな心・健やかな体の成長を目指した教育活動を推進している。

２　取り組んだ内容

（1）運動会「玉入れ」競技

運動会当日、１年生は玉入れに元気いっぱい取り組んだ。子どもたちは、合図とともに一斉に玉を拾い、かごをめがけて何度も投げ続け、会場は大きな歓声に包まれた。松葉杖を使用している児童は思うように移動できない中でも、自分のもとに転がってきた玉を器用に拾い上げ、力いっぱい投げる姿が印象的であった。また、車椅子の児童も友だちや教員の支援を受けながら輪の中に入り、仲間と声を掛け合いながら懸命に参加していた。

互いに励まし合い、自然に協力する姿が随所に見られ、１年生全員が同じ場で共に活動できたことに大きな意義があった。競技は大いに盛り上がり、学年の絆と達成感を深める貴重な機会となった。

（2）特別支援学級「お楽しみ会」

特別支援学級（児童数 64 名）の交流会においても玉入れを実施した。種別の異なる子どもたちが同じ場に集い、笑顔で玉を追いかけ、かごをめがけて何度も投げる姿が見られた。普段はおとなしく声を出すことの少ない児童も、この日は友だちと一緒に大きな歓声を上げ、会場は温かな雰囲気に包まれた。運動に苦手意識をもつ児童も少なくないが、玉入れは技能差が目立ちにくく、それぞれが自分のペースで力を発揮できる競技である。

互いに励まし合いながら取り組む中で、誰もが自信をもって参加することができ、仲間とのつながりや達成感を深める貴重な機会となった。

（3）【予定】6 年生を送る会（1 年生対 6 年生）

来月開催予定の「6 年生を送る会」では、1 年生が感謝の気持ちを込めて 6 年生と対決する予定である。入学当初から優しく支えてくれた 6 年生への思いを胸に、この 1 年間で成長した姿を精一杯披露しようと、日々練習に励んでいるところである。本番では、これまで身に付けてきた力を発揮し、自信に満ちた表情で堂々と発表する姿が期待される。

３　活動の成果

本活動を通して、児童の主体性や協働性、そして自己肯定感の高まりが顕著に見られた。はじめは不安そうに周囲の様子をうかがっていた児童も、友だちと声を掛け合いながら玉を投げるうちに次第に表情が和らぎ、自ら進んで参加する姿へと変容した。成功体験を積み重ねることで「もう一回やってみたい」「次はもっと入れたい」と前向きな言葉が増え、仲間を応援する姿も多く見られた。普段は発言や感情表現が少ない児童が大きな声で歓声を上げる様子や、運動に苦手意識をもつ児童が自信をもって競技に取り組む姿は、本活動の大きな成果である。玉入れは技能差が表れにくく、それぞれが自分の役割を見いだしやすい競技であることから、誰もが同じ場で達成感を味わうことができた。

一方で、支援を要する児童への声かけや安全面への配慮、教職員間の役割分担など、より円滑な運営に向けた課題も明らかになった。事前の打ち合わせや練習の工夫により、さらに安心して参加できる環境づくりを進めていきたい。

また、今回ご支援によりカラー玉を購入させていただいたことに、心より感謝している。十分な数の玉がそろったことで活動の幅が広がり、児童の意欲向上にもつながった。今後も運動会や交流会、日常の体育活動などで積極的に活用し、子どもたちの成長を支える教育活動の充実に役立てていきたい。